

開講科目名 Course	刑事法研究 (A) / Criminal Law (A)
時間割コード Course Code	13350
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	他 2
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	遠山 圭一
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	遠山 圭一 (法学部)
授業の目標	
授業の概要	<p>&lt; 授業の目標 &gt;  刑事訴訟法の手続や論点を学習します。  刑事訴訟法の概念や構造を習得し、具体的事例や実務上の問題点の検討を通じて、事案分析能力や論理的思考力を習得することを目的とします。</p> <p>&lt; 授業の概要 &gt;  この授業は【遠隔】授業で行います。  資料や小テストを配布します。</p> <p>&lt; 評価方法 &gt;  毎回実施する小テストの提出をもとに成績評価を行います。</p> <p>&lt; 授業計画 &gt;  この授業は【遠隔】授業で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 総論</li> <li>3 捜査の端緒</li> <li>4 捜査に関する一般規範、逮捕・勾留</li> <li>5 逮捕・勾留、逮捕・勾留に関する諸問題</li> <li>6 捜索・押収・検証等</li> <li>7 供述を得るための捜査、被疑者の防御</li> <li>8 公訴提起</li> <li>9 公判手続の流れ</li> <li>10 審判の対象</li> <li>11 証明と認定</li> <li>12 伝聞証拠の証拠能力</li> <li>13 自白の証拠能力と証明力、違法収集証拠の証拠能力</li> <li>14 裁判</li> <li>15 まとめ</li> </ol>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	
参考書	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	